

第 11 回 市民福祉常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年10月26日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の審査
出席委員	高野美枝子、東川孝義、東千春、川村幸栄、倉澤宏、五十嵐千絵				
委員外議員					
欠席委員					

審査及び報告事項

【健康福祉部】

1. 第3期名寄市地域福祉計画の策定について

- ① 第3期名寄市地域福祉計画（案）について、保健医療福祉推進協議会地域福祉部会においての、素案内容の説明を受けた。
- ② 素案作成にあたり、18歳以上の市民2,000人を「地域別・年代別・男女別」、無作為抽出でアンケートを実施した。調査時期令和3年7月12日～8月10日（回収票840票、40.2%）
- ③ 今後のスケジュールは、10月25日及び11月下旬に部会を開催し、12月上旬に計画の答申。12月中旬又は下旬からパブリックコメント実施。

【質疑】

- Q：計画案の人口推計資料が、名寄市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」（平成27年10月策定）を使用しているが、実態にあった人口推計はなかったのか。
- A：名寄市総合計画が上位計画であり、総合計画と整合性を持たすために使用している。
- Q：アンケート結果の、町内会活動状況の現状をどのように把握しているのか。
- A：厳しい現状は理解している。施策なのか手助けなのか充分検討していく。
- Q：アンケート結果の情報入手手段でホームページやブログ、SNSが多くなっているが、今後の情報伝達方法は。
- A：福祉施策だけに限らず、HP・SNS・ライン・フェイスブック等の媒体を使い、情報発信を行うべく調整を進めている。

2. こどもの遊び場整備事業について

- ① 名寄市こどもの遊び場平面図で、遊び場遊具配置概略の説明を受ける。
- ② 遊具の到着遅れ（海外調達）等により、12月オープン予定（当初より1ヶ月遅れ）
- ③ 愛称募集は10月29日期限で進めており、11月中旬選考委員会で決定する。

3. 新型コロナウイルス感染症対策について

(1) 感染状況及び感染対策について

- ・全国の新規感染者数は減少し、北海道においても20人を切る日が続いている。しかし、年末年始にかけて人の移動が多い時期になり、第6波の可能性も懸念される。
- ・一方、全国各地において飲食店での「ワクチン・検査パッケージ」の実証実験を行いながら、経済対策が取り組まれている。
- ・また、北海道では、飲食店における感染防止対策の認証制度（通称：第三者認証制度）の申

請受付（10月22日から全道域に拡大）、現地調査、認証作業を順次行うなど、11月1日からの本格的な経済活動再開に向け準備を進めている。

- ・本市においても、これまでの感染予防対策の継続・徹底とともに、プレミアム付商品券の発行等による経済回復に向けた取り組みを進めている。

(2) ワクチン接種について

① 接種率について

- ・10月21日現在のワクチン接種状況は、65歳以上2回目接種93.1%、12歳～64歳の2回目接種は80.5%で、全体では85.1%である。

② 今後の1回目接種スケジュールについて

- ・接種予約は11月7日（保健センター会場）と11月9日（ふうれん健康センター会場）分を受け付ける。その後の予約受付方法等は、現在の予約状況をみながら検討する。
- ・12歳から15歳の接種は、名寄市立総合病院で継続して行う。

③ 3回目のワクチン接種について

- ・国から「概ね8か月以上経過した際に開始できるよう、対象者の抽出や接種券の発送準備等を行うこと」の事務連絡があり、優先接種を行った医療従事者等から順次接種ができるよう、医療機関等の協力をいただきながら進めている。

【質疑】

Q：抗原検査キットの取り扱いは。薬局等で購入し結果は個人判断なのか。

A：正確な情報が届いていない。効果等は今後検証していきたい。

Q：3回目接種のワクチンの銘柄は。

A：交差接種の通知は来ていないので、当面はファイザー製でスタートする。

以上

報告者 市民福祉常任委員会 副委員長 東川 孝義